

2次元から3次元の時代へ



～時短・生産性を向上させる工夫～

① 最近、製品がどんどん小型化、複雑化しているから、設計が大変だよ。設計開発部署のみんなが長時間労働だ・・・。

② 設計で大変なことは为什么呢。

③ それでは、2Dではなく3DCADを導入してはどうでしょうか。3DCADでは立体的なモデルを作成するので、製造者も直感的に設計を読み取ることが可能となり、作業効率が良くなるはずですよ。

④ 助成金を活用し、3DCADを導入したところ、設計図の読み取りが容易になり、試作機の製造がスムーズになりました。また、3Dモデル上で部品干渉も確認できることから、試作段階での手戻りが減りました。

① なんとかならないものか

② やり直しも多くてね

③ そんなことが活用のしきょう

④ 業務効率が改善し、長時間労働が解消した

◇：コンピュータを使って設計・デザインすること。2D→平面で考える。3D→立体的に考える。

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「36協定上限引下げ★+設備投資★★★」に該当

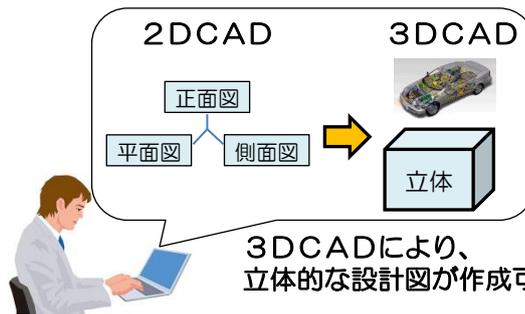
取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：22名

従来は2DCADを使用し、製図を行っていたが、試作機を作る際、試作機の製造者が図面を読み取り、加工方法の検討、加工データの作成を経てから、試作品の加工に入るというように、いくつかの工程があり、時間がかかっていた。

<3DCADシステムの導入※>

- 立体的な設計図が作成可能な3DCADを導入した。
- 試作機の製造を行うため、3DCADデータと連携が可能な3Dプリンターを導入した。



3DCADにより、立体的な設計図が作成可能！

【3DCAD導入費用を助成！】

- 時間外労働等改善助成金
- <時間外労働上限設定コース>
- 助成率上限 80%
- 助成額上限 200万円

◆助成金には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・3DCADでは立体的なモデルのデータを作成するため、体積・表面積・質量・重心等の情報を算出することが可能となり、部品同士が干渉しないか検証できることから、開発終盤での手戻りが減少した。
- ・3Dプリンターにより3DCADのデータから成型機で試作機を完成できるようになった。
- ・結果として、長時間労働が解消し、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com